

京都の夏を旨とした住まいにならない、地域型住宅の省エネルギーを探る

2020年に向けて省エネ基準適

合義務化の法制化が予定されています。

これに対し木造住宅の設計、施工、研究
に関わる各分野でさまざまな議論が始
まっています。それが日本国中くまなく

全ての住宅に適用されるということ
は、予想を超える大きな問題をはらんで
いるからです。

例えば、耐久性を損なう心配はないの
か、**地域的多様性**が失われる恐れはな
いか、居住者の経済的負担はどうする
のか。さらに、日本の開放的な住まい
方の文化が失われる恐れがあります。
このままでは、真壁の土壁造りや土蔵づ
くりなどの伝統木造も、高い外皮性能が
求められることになるでしょう。

このような課題について、広い立場から
議論を深め、**伝統的木造住宅と省エ
ネルギー**に関しての問題点を明らかにす
るという主旨で開催するものです。



12:00~16:45

ひと・まち交流館 京都 2F大会議室

京都市下京区西木屋町通上ノ口上ル梅湊町83の1
河原町五条下ル東側 『河原町正面』バス停前



【参加費】1500円
【CPD認定】5単位

11:30 開場

12:00 開会あいさつ

主旨説明

12:15 基調講演 『温暖地型開放系省エネルギーモデル』

12:55 事例紹介

14:30 分科会

16:00 パネルディスカッション

16:30 まとめ

16:45 閉会

京都府建築士会会長 衛藤 昭夫

東京建築士会会長 中村 勉

筑波大学名誉教授 安藤 邦廣

篠計画工房 篠 節子

古川設計室 古川 保

京都大学助教 伊庭 千恵美

細木建築研究所 細木 茂

資源分科会 トヨタヤシ建築設計事務所 豊田 保之

技術分科会 京都大学教授 鉾井 修一

生活文化分科会 秦家住宅 秦めぐみ

京都大学教授 高田 光雄

（敬称略）

主催 (社)京都府建築士会・(公社)日本建築士会連合会・(公社)日本建築家協会

(社)日本建築学会・(社)東京建築士会・NPO法人 木の建築フォーラム

協賛 東京原木協同組合

後援 京都府・京都市

(公社)日本左官会議・(社)日本ロウハウス協会・(社)日本左官業組合連合会

NPO法人 日本伝統建築技術保存会・NPO法人 日本民家再生協会

平成の京町家コンソーシアム・京都府建築工業協同組合・伝統木造技術文化遺産準備会
これからの木造住宅を考える連絡会・住まいと環境東北フォーラム

秦家住宅 (京都市下京区)



各分科会の紹介

資源分科会

ファシリテーター 山本晶三(京都府建築士会)

建築の長寿命化という観点から、地域ごとの多様な住宅を生み出す木材資源の活用やその循環的利用、建築材料としての自然素材の耐久性や可能性を話し合い、CO2排出削減や廃棄物排出削減の基本を問い直す。



発表者 豊田 保之

トヨタヤスシ建築設計事務所代表 京都造形芸術大学大学院非常勤講師 岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師
1974年生まれ。大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業。代々続く左官職人の家に生まれた経歴から、土壁や漆喰など左官職を生かした家づくりを行っている。

技術分科会

ファシリテーター 加茂みどり(京都府建築士会)

室内温熱環境とエネルギー消費及び生活スタイルの実態をふまえ、伝統的で開放的かつ快適な住宅を追求する立場から、一次エネルギー消費量を評価尺度とする今回の省エネルギー基準への対応について考える。



発表者 銚井 修一

京都大学大学院工学研究科 建築学専攻 教授 一級建築士
1951年生まれ 博士(工学) 住宅における室内環境とエネルギー消費、文化遺産の維持・保全、温熱生理と快適性、調湿建材の利用および湿害防止などに取り組む。
日本建築学会賞、日本生気象学会論文奨励賞などを受賞。

生活文化分科会

ファシリテーター 西田教子(京都府建築士会)

日本的な『間』の文化を垣間みることができる伝統的住居の縁側や軒などの装置。それら次世代へ継承するに値する、知恵によって培われた自然との共生や生活観、個と社会との交流の環境について考える。



発表者 秦 めぐみ

18世紀半ばから近年まで薬種業を営んでいた京町家「秦家住宅」の主人。暮らしの息遣いを大切にしながら、その維持・保存に努めている。生活習慣や年中歳時を伝える「くらし体験会」「料理の会」「親子会」を催すほか、一日一組限定の料理『秦家』では季節の味のおもてなしを行なう。

登壇者プロフィール 〈登壇順〉



衛藤 照夫 京都府建築士会会長 建築家

1974年京都大学建築学科卒業
設計事務所ゲンブランを経て、(株)ゆう建築設計を設立。病院・福祉施設設計・監理に携わる。木造耐火建築物の設計に取組んでいる。



中村 勉 東京建築士会会長 建築家

1969年東大建築学科卒業 横総合計画事務所 AURコンサルタントを経て中村勉総合計画事務所を主宰 ものづくり大学名誉教授 日本建築士会連合会環境部会長。建築設計を通じ、環境問題への啓蒙、地域の活力を育てる活動をおこなっている。



安藤 邦廣 筑波大学名誉教授 工学博士 建築家

里山建築研究所主宰 NPO木の建築フォーラム理事長
1948年宮城県生まれ 九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業 日本の森林資源を活用した板倉の家づくりと地域づくりに取り組んでいる。



篠 節子 篠計画工房 建築家

日本女子大学住居学科卒業 アルセッド建築研究所を経て2009年篠計画工房開設 JIA環境会議伝統的工法のすまいRUにおいて次世代に伝統的工法の住宅を継承するために環境・温熱・省エネ性能の調査研究活動に関わっている。



古川 保 古川設計室 建築家

JIA環境会議伝統工法のすまいRU研究員
1947年佐賀県生まれ
熊本大学工学部土木工学科卒業
熊本市内にて古川設計室を主宰



伊庭 千恵美 京都大学大学院工学研究科 助教

1977年北海道生まれ 京都大学工学部建築学科卒業 同大学院工学研究科建築学専攻修了。専門は建築環境工学で、主に熱と水分を扱う。最近では京町家の温熱環境と省エネルギー、瓦をはじめとする外装材料の劣化対策に取り組む。



細木 茂 細木建築研究所 建築家

JIA四国・中国支部「環境×建築連続セミナー」実行委員会副委員長
1947年高知県生まれ 神奈川大学工学部建築学科卒業 高知市内にて木造を主体とした設計活動をおこなっている。



高田 光雄 京都大学大学院工学研究科 教授

1951年生まれ 博士(工学) 一級建築士 地域の歴史や文化を活かした住まい・まちづくりの実践的研究、少子高齢社会に対応した都心居住空間のデザイン、スケルトン・インフィル方式の住宅ストック再生への適用、集合住宅団地の再生などに取り組む。

公開フォーラム参加申込書

FAX : 03-3456-2067

ふりがな		性別	男 / 女	年齢	
氏名					
連絡先 (自宅・勤務先)	勤務先名・学校名				
	〒				
	住所				
TEL :	FAX :	E-mail :			
参加希望分科会 (ご希望に○)	資源分科会	技術分科会	生活文化分科会		
・連絡方法 :	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> E-mail		
・職業 :	<input type="checkbox"/> 設計者	<input type="checkbox"/> 施工者	<input type="checkbox"/> 行政	<input type="checkbox"/> その他 () 伝木関係者 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
・CPD 単位 :	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (CPD 番号又は建築士登録番号 :)				
・所属団体 :	<input type="checkbox"/> 建築士会 <input type="checkbox"/> 日本建築学会 <input type="checkbox"/> 日本建築家協会 <input type="checkbox"/> 木の建築フォーラム <input type="checkbox"/> その他 ()				
2016年1月12日					
※申込書を2015年12月20日までに日本建築士会連合会宛に FAX もしくはメールで送信お願いいたします。					
申込書の受領後、事務局より受付のご連絡を差し上げます。その後、参加費 1,500 円を下記振込先へお振込願います。					
振込先 : 三井住友銀行 三田通 支店 当座 5098339 公益社団法人 日本建築士会連合会 シヤ) ニホンケンチクシカイレンゴウカイ					